平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	水産林務課	課かい長名	沖田　良三

組織目標	・木の駅プロジェクトの実践による間伐材等の林地残材等を有効活用し、林業の振興と地域の活性化を図ります。 ・八代海の水産資源の回復と浜の活力再生プランに基づく各漁協や漁業者の取組みを支援します。 ・適正な補助業務を推進します。 ・林道整備を推進します。 ・漁港の機能保全計画策定を推進します。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
水産林務課①	**木の駅プロジェクトの推進** 農林水産部⑦	①具体的目標	平成26年度から取り組んでいる八代市木の駅プロジェクトを実践し、間伐材等の林地残材の集積を推進し、地域での木質バイオマス燃料への有効活用による地域循環型のエネルギー供給体制の確立と森林の荒廃を未然に防止するとともに、木材買取価格の市上乗せ補助分として発行する地域通貨券（もり券）の利用を発行する。	八代市木の駅プロジェクト実行委員会での木の駅プロジェクトをサポートし、スケジュールに沿って実行する。 〇7月まで ・計量器の設置 ・もり券発行及び取扱い加盟店の募集 （プレミアム付商品券発行事務との連携） ・チラシ配布及び市広報誌の活用等による周知・広　報の実施 ・実行委員会への事務委託の実施						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	地域通貨券（もり券）の取扱い加盟店を広く募集する必要がある。特に木の駅の利用が最も多いと予想される泉、東陽地区での加盟店の拡大が必要である。 また、集積を増加させるための周知・広報等が必要である。							②課題・特記事項等	
水産林務課②	**八代海における栽培漁業の推進** 農林水産部⑧	①具体的目標	①年間を通して稚魚・稚エビ等の計画的な放流等を実施し、八代海における水産資源の回復・増大を図る。 特にアサリ資源の回復のために平成25年度から取り組んでいるケアシェルや食害対策としての被覆網による資源保護区内で成長が確認されるアサリの水揚げを目指す。 ②各漁協で策定が進んでいる「浜の活力再生プラン」に基づく、ブランド化の推進等への取組みを支援する。	県南広域本部水産課と共同でのアサリの生育状況調査を実施する。 〇年2回　5月、10月と必要に応じて随時調査を実施する。 食害対策としてのナルトビエイ駆除を支援する。 〇年間駆除目標：25トン以上 市内で水揚げされる水産物の品質向上や生産技術の向上を図るための漁業者等の取組みや浜の活力再生プランを策定した取り組みを支援する。 〇地域水産業活性化支援事業：創生先行の実施 ・募集時期 第1回　4月末　　第2回　6月中旬 ・審査会の開催 第1回　5月上旬　第2回　7月中旬 ・決定・却下通知 第1回　5月中旬　第2回　7月下旬						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①アサリに関しては、ケアシェルによる稚貝の定着は確認されたものの、管理不足や水質等環境の変化により死滅するなど、生残率が低迷している。 平成27年度は、漁業者による管理を徹底するとともに、斃死の時期を見極めながら水揚げに繋げる必要がある。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
水産林務課③	**適正な補助業務の推進**	①具体的目標	各種補助金交付要綱、要領に基づき実施している事業に関して、周知・広報を徹底するとともに適切な事務の執行を行う。	・年間を通して、本市のホームページでの広報やチラシの配布等により、事業制度の概要や期間等を広く周知する。 ・上半期まで 補助事務執行に関するマニュアルを作成する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	関連する国や県の制度改正に伴い、要綱、要領等の見直しが必要となることもあり、迅速に対応する必要がある。							②課題・特記事項等	
水産林務課④	**林道整備の推進**	①具体的目標	平成27年度、新規に承認を受けた地域再生計画（事業期間：H27～H31）に基づく道整備交付金事業と林道専用道開設事業による林道の整備を推進する。	事業計画及び発注予定に沿って着実に事業を推進する。 ○上半期まで 路線ごとの測量設計業務委託の実施 委託路線数：11路線 ○地元調整後速やかに工事を発注 工事路線数：12路線						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	本市における林道の整備率は国や県の目標値に比べ低い状況となっており、木材需要の高まりに応えるため、計画的かつ重点的に取り組む必要がある。							②課題・特記事項等	
水産林務課⑤	**漁港の機能保全計画の推進**	①具体的目標	大鞘漁港及び植柳漁港は、施設整備後、約30年が経過し、施設の老朽化等の進行により、機能の低下が危惧されることから、平成26年度から漁港施設の機能診断と機能保全計画の策定に取組んでいる。今年度は、水域施設の機能診断と策定した漁港施設の機能保全計画に基づく保全工事設計業務を委託する。	大鞘漁港及び植柳漁港の水域施設の機能保全計画と大鞘漁港施設の保全工事設計を行う。 ○上半期まで ・大鞘漁港・植柳漁港水域施設機能保全計画策定業務委託の実施 ・大鞘漁港施設保全工事設計業務委託の実施						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	漁港施設の機能保全計画では、緊急性の高い施設から順次改修する計画としているが、改修には多額の費用を要し、事業の長期化が予想される。今後の改修に当たっては、国や県の補助を活用するなど財源の確保に努める必要がある。							②課題・特記事項等	